

九州・沖縄地域共生社会推進フォーラムの開催

～国東市民の取り組みを九州・沖縄に発信しました～

令和4年1月28日（金）に厚生労働省九州厚生局主催の九州・沖縄地域共生社会推進フォーラムがライブ配信（ZOOM）で開催されました。

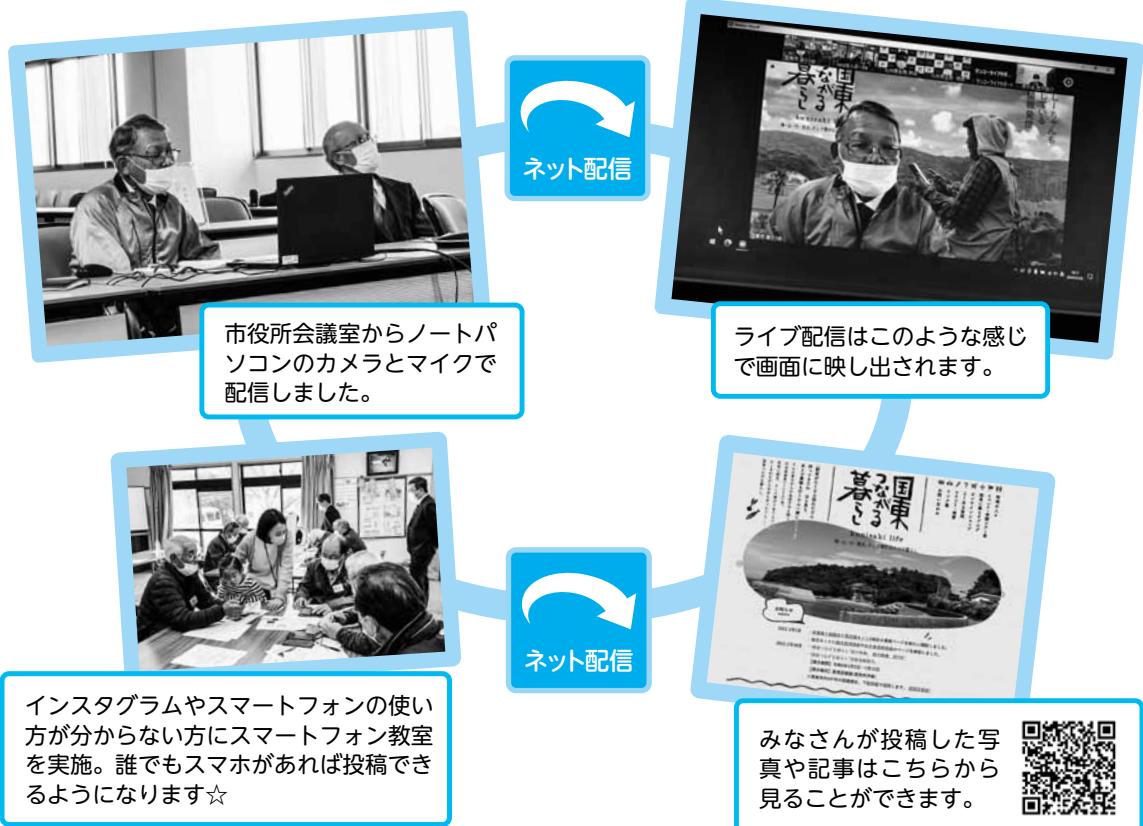
フォーラムは地域共生社会の先駆的な取り組みをくにさき地域応援協議会“寄ろう会（え）”（大分県国東市）、NPO法人おーさあ（熊本県熊本市）、（株）サンコーライフサポート（熊本県合志市）、熊本県大津市の4団体が九州・沖縄県域の県・市町村職員や社会福祉協議会職員に発表しました。

“寄ろう会（え）”は、地域の皆さんが、「いつでもどこでも情報を得られる」共通Webサイトの作成や「いつでもどこでも情報を発信できる」スマートフォン教室などの取り組みを発表しました。

その他にも多くの取り組みがあります。ぜひWebサイト“国東つながる暮らし”をご覧ください。



国東つながる暮らしの説明は
YouTubeで視聴できます。



九州厚生局地域共生社会推進賞 団体部門受賞



くにさき地域応援協議会“寄ろう会（え）”のインターネットによる情報発信『国東市地域づくり支えあい活動共通Webサイト“国東つながる暮らし”』が地域共生社会推進賞を受賞し三河市長に報告しました。

あわせて、公益財団法人さわやか福祉財団が主催する「いきがい・助け合いサミットin神奈川のポスターセッション」に入賞し表彰されたことも報告しました。

国東つながる暮らし

kunisaki life

海・山・川・歴史、そして繋がる人々の暮らし



しーちゃんも
している
情報発信



【活動報告】(大分県) 国東市 地域づくり支え合い活動 共通WEBサイト “国東つながる暮らし”
くにさき地域応援協議会“寄ろう会(え)”

大分県 国東市

■位置



【基本情報 令和2年9月現在】

●人口: 27, 240人

65歳以上人口 11,551人(42.4%)

85歳以上人口 2,840人(10.4%)

●面積: 318.10km²

※端から端まで車で 1時間程度

●地域づくり活動 基準エリア(市内16エリア)

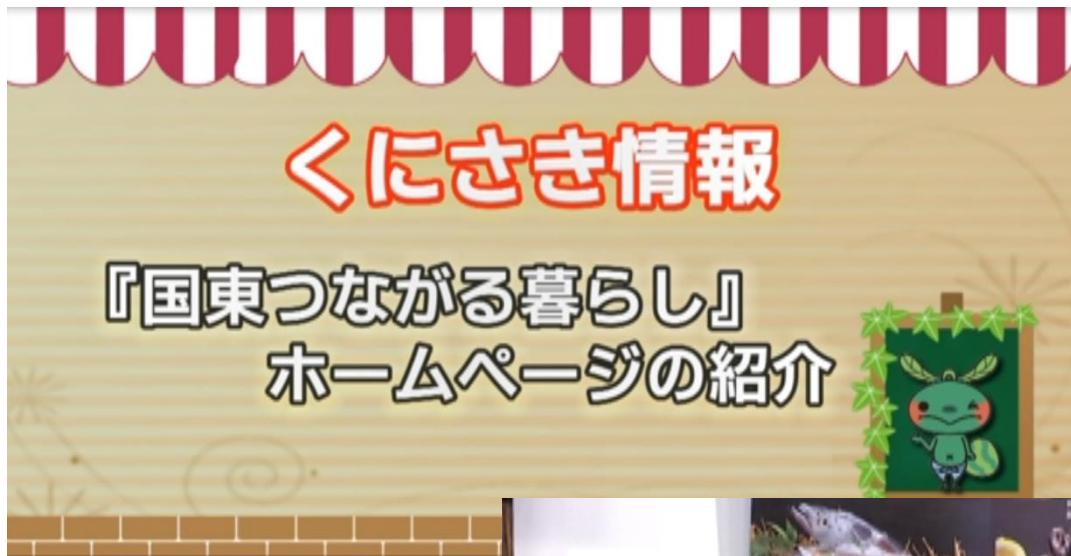
※国東市総合計画に基づき、基準エリアは地区公民館(旧小学校圏域)



【基準16エリア】



映像紹介 7分



くにさき地域応援協議会“寄ろう会”

準備期間：平成28年3月7日～平成29年11月24日
本格運用：平成30年3月1日～

国東市は27,240人、65歳以上11,551人(42.4%)“超高齢社会”。85歳以上も2,840人(10.4%)で約10人に1人が85歳以上。支援が必要な方は増える一方で、公的な支援は減少していく事が予測され、国東市では専門機関の支援だけではなく住民同士の支え合い活動(自分たちにできる介護予防や生活支援)が平成29年度より本格的にスタート。市内の各地域で全戸アンケート調査をするなどして、地域の方々の要望を洗い出すことから支え合い活動は始まりました。その結果、各地区で今できるところから支援の形(居場所づくりやちょい加勢支援)を実現化させていっています。高齢化、人口減少がとどまらない中、各地区で問題や課題も多くありますが、支援の形を広げていくべく、それぞれが模索、努力しております。また、その活動自体が地域の方々のやりがいや生きがいともなってきています。当初高齢者支援を主目的とした活動として始まりましたが、その土台ともなる地域活性に関しても関わり、活動を広げています。地域の子供から高齢者まで、皆が笑顔で国東市での暮らしを楽しめるよう、また楽しみながらこれからも活動して参ります。

くにさき地域応援協議会“寄ろう会”は上記地域づくりを実践されている地域や団体、行政機関など一堂に会し、国東市全域で地域づくりを応援する会になります。

“寄ろう会(え)”は、暮らしの“支え合い”を国東一丸となって応援する会です。“寄ろうえ”は、国東の方言で“集まろう”という意味になります。会の名称を決める際、「みなで集まって暮らしの“支え合い”を話し合おう！」と親しみを込めて『寄ろう会(え)』と名付けました。みなが集まりそしてつながることから国東の支え合いがはじまります。

コロナ禍前



コロナ禍後



“国東市 地域支援サポーター”

試験期間：令和2年9月1日～令和3年3月31日
本格運用：令和3年4月1日～

サポーター(委嘱3名)



【氏名】 越名さん

【職業・経歴】

デザイン事務所経営
(元地域おこし協力隊)

【メッセージ】

現在、コロナウイルス感染拡大の状況下で地域の支え合いの取組み(カフェ、食事会)が休止しています。このような状況だからこそできる取組み(ミニお助け隊等)をもう少し工夫して地域の活性化につなげていきたいと思います。



【氏名】 武井さん

【職業・経歴】

体験型民宿経営
(商社勤務など)

【メッセージ】

国東市の課題は人口増の推進です。そのためにも暮らしを楽しめる地域にすることが発信力を持ちます。国東は豊かな自然と人のつながりが残っている希少な地域であり最大の資源です。その資源を生かす地域づくりを皆さんと共に考えていきた



【氏名】 熊田さん
と娘さん

【職業・経歴】

専業主婦をしながら
怪談師やイベント企画等
参加(元広告代理店勤務)

【メッセージ】

国東の魅力(伝統や文化・モノ・人)を日本中そして世界中に発信していきたいです。3歳の娘の子育てをしながら活動させていただけたいと思います。賑やかになってしまふこともあるかもしれません...娘共々どうぞ宜しくお願い致します。お気軽にお声掛けいただけましたら嬉しいです。

準サポーター(登録3名)



今田さん



原さん



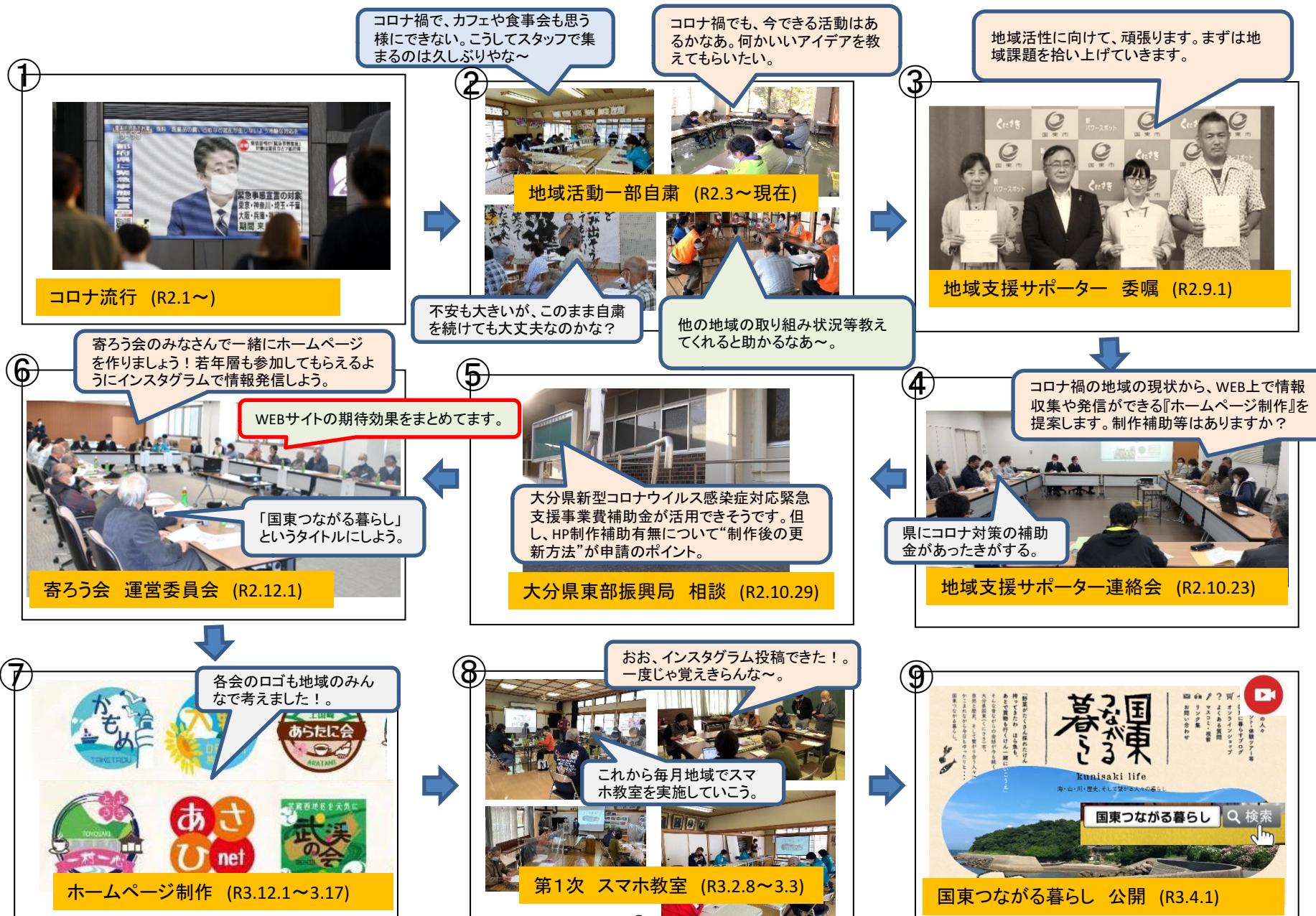
3 浅野さん

●地域支援サポーター連絡会(月1回開催)



月1回の「生活支援サポーター連絡会」で、行政各関係課の職員(課長含)も同席いただき、地域活性化に向けた提案を行います。WEBサイト制作(案)についてもこの連絡会からスタートしました。サポーターの皆さん提案は毎回とても斬新で具体性のある内容となっています。

公開までの流れ(制作まで)



制作後の展望と課題

①制作後の予算(行政支援)



●国東市役所 活力創生課
福田主幹

国東市役所では、令和3年度に新たに『国東市デジタル化推進支援補助事業』を創設、スマホ教室やタブレット整備、オンラインショップ開設等に役立ててほしい。

②WEBサイトの周知啓発の促進



越名さん



●全国へ周知啓発
ポスターセッション



●国東市内へ周知啓発
100部掲示

③スマホ教室開催(継続性と若年層参加)



●スマホ教室(新規地区開催の様子)



●スマホ塾 開催
お互いで教え合う様子



●スマホ教室(若年層講師参加)

④各地域協議会の介入や協働



●国東市役所 活力創生課
福田主幹

『国東つながる暮らし』
でこれまで停滞していた
地域や介入が難しかつ
た地域にも入るきっかけ
となった。

実際に新たな団体も活
動するようになり、今後も
一緒に活動できればと思
う。

制作後の展望と課題

⑤環境整備(各拠点のWi-Fiスポット化、タブレットの整備)



⑥体験イベントラリー開催(若年層の参加)



空き家調査

令和3年4月～
熊毛地区の子供たちが空き家調査にま

この度、熊毛地区の子供たち(現国見中学校1年生、4月より2年生)が、この地域を回ることとなりました。
国東市はご存の通り人口が減少傾向で、移住定住に向けて市も様々な取り組みを行っています。
その一環として「空き家ハント」制度を設けており、近年物置や建物の現状を把握されないといった問題も抱えております。
そのため、市よりまち支えあい活動として、大輪も少ないが投員、スタッフの協力で、これまでに大輪より熊毛地



⑦オンラインショップ開設(準備中)



オンラインショップ開設に向けて、地域おこし協力隊として、受注管理や商品発送等できることを協力していきたい。また、それぞれの地域の商品についても国東らしさを地域のみなさんと一緒に考えたいと思う。

⑧市役所内の連携



コロナ禍で住民主体の居場所づくりも自粛している。

『国東つながる暮らし』を活用して地域の連携や高齢者向けスマホ教室に発展した。

なお、市役所内の地域づくり関係課とも具体的に協議・連携し、地域共生社会を目指していきたい。